

ナチュラル・エネ・バレー

千年風土の豊穡の地
信越自然郷は、

自然エネルギーの郷でもあった!

自然エネルギー活用の機運が高まるなか、北信地域では地域の特性を活かして、豊かな清流、雪氷熱、木質チップや使用済みきこの堆地といったバイオマスなどの活用に向けた取組が各地で芽生え、進められている。また、「志賀高原ユネスコエコパーク」では、新たに、「自然を活かした生活が営まれる移行地域」を設定する手続きを行っている。こうした取組と様々なチャンネルで連携・協働化を図るとともに、必要な支援を行うことで、自然エネルギーの地産地消を実践し、「自然エネルギーの郷」としてブランド化を進め、地域振興につなげる。



- 使用済みきこの堆地等の具体的な活用方法の調査・研究
- バイオマス燃料を利用するための農業用ボイラー等の導入への支援
- 自然エネルギーを活用した宿泊施設等のPR
- 自然エネルギー活用スポットを巡るツアーの企画
- 雪中貯蔵した農産物等のプロモーション

新幹線関連の各種プロモーションともタイアップ

関連産業の振興!

観光客の増!

地域経済活性化!

エコな暮らしの実現!

移住・交流の促進!

雇用創出!

自然エネルギーっていいね...

住みたい 行きたい 新たな「ふるさと北信州」を創造



信越自然郷「自然エネルギーの郷」推進プロジェクト

北信地方事務所

1 事業の内容

管内で活発化しつつある、雪を活用した取組やきのご廃培地を活用した取組などの自然エネルギー活用に向けた取組に対し、北信地域内での連携・協働化を図るとともに、必要な支援を行うことで、自然エネルギーの地産地消を実践し、「自然エネルギーの郷」としてのブランド化を進め、地域振興につなげる。

(1) 「自然エネルギーの郷」推進プロジェクト推進事業

「自然エネルギーの郷」として、地域内での連携・協働化を図り、自然エネルギーへの取組を強化する。

- ・北信管内の市町村や関係機関及び県との連携会議等の実施
- ・将来的にはブランド化や商品開発及び都市との交流推進事業へと発展
- ・北信地方事務所内にプロジェクトチームを立ち上げるとともに、県庁内にも部局横断的な体制を整備し取組を支援

【事業費：H26年度：400千円（広報・情報発信等）】

(2) 未利用自然エネルギー活用促進支援事業

地域で生じる木質チップやきのご廃培地等のバイオマス資源について、農業生産や住民生活での利活用モデルを構築し、自然エネルギーの地産地消を推進する。

- ・施設園芸や高齢者住宅の融雪など、バイオマスボイラー等活用モデルの構築
- ・将来的にはバイオマスボイラー等の導入を支援

【事業費：H26年度 6,000千円（調査研究等）】

2 その他

取組は、北信管内6市町村で開始し、将来的には信越9市町村やユネスコエコパークを構成する高山村まで含めて展開する。また、群馬、新潟両県との連携も目指す。

3 スケジュール

	H25年度	H26年度	H27年度
地域の連携促進	(連携会議等)	→	
広報・情報発信	(情報収集・発信)	(イベント等)	→
ブランド化・商品開発		(商品開発等)	→
交流推進			(環境学習等交流)
未利用自然エネルギー活用促進		(調査・研究)	→ (設備等導入支援)